※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　学ビジネス科

教科	学ビジネス	科目	（学）キャリアアップナビ講座Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・様々な職種の方の講義を聞きます。
　様々な職種の方をお招きして、講義や演習を行います。普段の学校生活では、関わることができないような人とも交流することができます。その経験を、自分の進路へ活かしていくようにしましょう。
・基本的なマナーの講習を行います。
　挨拶や、お辞儀のやり方など、基本的なマナーの講習を行います。基本的なマナーを身につけ、事業所実習の授業へとつなげることができるようにしましょう。また、実習先への電話の方法なども学習します。
・プレゼンテーションの方法を学習します。
　事業所実習の成果をパワーポイントを用いて発表します。それに向けた見やすいスライドの作成方法やプレゼンテーションの方法を学習します。自分で様々なことを工夫し、スライドの作成、発表を行いましょう。
・日頃の授業への取り組み状況も評価の対象です。
　授業を大切にし、積極的に取り組むようにしてください。

２　学習の到達目標

(1)専門領域の講義を実社会で活かす情報活用力、実践することができる知識・技能を身につけるようにする。
(2)実習をより充実させるための傾聴力、計画力、実行力、自分が関わる業務を分析する力を養う。
(3)職業適性を見極める力を身につけようとする態度、適正な進路選択と専門性の向上をめざして取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・専門領域の講義を実社会で活かす情報活用力を身につけている。 ・実践することができる知識・技能を身につけている。	・実習をより充実させるための傾聴力、計画力、実行力を身につけている。 ・自分が関わる業務を分析する力を身につけている。	・職業適性を見極める力を身につけようとしている。 ・適正な進路選択と専門性の向上をめざそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	マナー	基本的なマナーについて	a:基本的なマナー（挨拶、お辞儀の方法など）を身につけている。 c:基本的なマナー（挨拶、お辞儀の方法など）を身につけようとしている。	実技テスト		レポート
	コミュニケーション	自己理解 他者理解 分析	a:自分のことを理解し、相手に伝えることができる。 b:相手の様子を観察しながら、自分のことを相手に伝えることができる。 相手の言葉に耳を傾け、話を聞くことができる。 自分が関わる業務を分析することができる。 c:積極的に、相手に物事を伝えようとしている。 相手の話を、積極的に聞こうとしている。	ワークシート ワーク	ワーク	レポート
	講義	講義	a:講師の方の話を聞き、自分に必要な情報を精査することができる。 b:講師の方の話を意欲的に聞き、自らの進路に役立てることができる。 c:講師の方の話を意欲的に聞き、自らの進路に役立てようとしている。 適正な進路選択と専門性を向上させようとしている。	ワークシート	ワークシート	レポート
	プレゼンテーション	スライドの作成方法 発表の方法	a:見やすいスライドの作成方法を理解している。 見やすいスライドを作成することができる。 b:相手に伝わるよう、スライドを工夫し、作成することができる。 相手に伝わるよう、発表の方法を工夫することができる。 c:相手に伝わるよう、発表の方法を工夫しようとしている。	発表スライド 発表	発表スライド 発表	発表 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度